

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部

福祉部

課

障害福祉課

施設名称	〔32〕東京都台東区身体障害者生活ホームフロム千束					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東つばさ福祉会	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	障害者福祉施設（生活介護1、身体障害者生活ホーム1、知的障害者グループホーム7、就労移行支援1、放課後等デイサービス1、特定相談支援事業1）の運営、就労支援事業					
(2)類似施設の管理実績	同上					
(3)経営状況	[社会福祉法人会計]歳入 345,298,096円 歳出 345,298,096円 収支差額 0円 [公益事業特別会計]歳入 68,573,473円 歳出 68,573,473円 収支差額 0円 [就労支援事業特別会計]歳入 10,726,234円 歳出 10,726,234円 収支差額 0円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区千束3-28-13 千束保健福祉センター2階					
(2)設置目的	心身障害者の福祉の増進を図り、地域社会での自立生活を促進するため					
(3)利用者	台東区内に住所を有する身体障害者					
(4)開館日・時間	通年・24時間					
(5)規模	千束保健福祉センター内 RC造 地上7階地下2階のうち2階 延6,733.87㎡のうち2階765.53㎡ 居室11、介護人室2、食堂、浴室、洗濯室、トイレ					
(6)人員体制	12名 【内訳】施設長1、生活支援員 常勤7非常勤4					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	・入居事業 ・自立生活体験事業 一定期間（1か月間単位）の入居生活を体験してもらう事業					
(2)自主事業	「フロム千束」の近隣に居住する一人暮らしの在宅障害者に、入浴サービスを提供 会議室等の貸し出し 体験学習の場の提供					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	41,202,000	10,843,000	56,972,000	56,167,000	61,611,000
	利用料金収入	1,558,000	330,000	2,987,000	2,665,000	2,665,000
	その他収入	695,000	90,000	1,018,000	243,000	303,000
	管理経費	43,455,000	11,263,000	60,977,000	59,075,000	64,579,000
決算	委託料	40,099,197	10,843,000	53,153,225	55,659,821	56,127,904
	利用料金収入	1,852,400	330,600	2,632,970	2,684,140	2,722,620
	その他収入	566,400	121,400	442,450	356,500	189,290
	管理経費	42,517,997	11,295,000	56,228,645	58,700,461	59,039,814
収支	0	0	0	0	0	
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
年間開所日数	日	91	365	365	365	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
年間延月単位利用者数	人	132	132	132	132	
稼働率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

自主事業の相談・食事の提供については25年度末で廃止し、小中学校の体験学習の場の提供や障害者団体への会議室の貸し出しを行う事業への見直しを行った。懸案であった医療的ケア（社会福祉士及び介護福祉法の改正により認められた介護職員によるたんの吸引等）の実施については、必須である介護職員の「喀痰吸引等研修」の受講枠が少ないため、未受講となっている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [2]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	入居事業(定住)及び体験入居の稼働率は100%であり、概ね良好に行われている。自主事業では浴室提供の利用件数が増加したが、相談・食事は昨年同様0件であったため、会議室の貸出事業等、新事業への見直しを行った。
(2)施設の維持管理	A	施設の維持管理については、適正に設備点検を実施するとともに、必要に応じて迅速な修繕を行うなど、利用者の安全確保に努めている。設備や備品等の状況に変化が生じた場合には、区に報告する体制がとられており、適切になされている。
(3)利用者の満足度	A	利用者とのミーティングを定期的に行い、要望等を聞く機会を設けている。また第三者委員の視察の際に、第三者委員を利用者に紹介するなど、利用者の声を施設運営に反映させる仕組みづくりに努めている。
(4)収入支出	A	収入確保と経費の削減に努めており、適正な予算執行・予算管理が行われている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	自主事業の相談・食事の提供については、実績等を考慮し事業の見直しを行った。施設の適正な維持管理に努めるとともに利用者本位のサービスを提供し、関係団体とも連絡を取りながら地域福祉の担い手となっている。
-----------	---

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

介護職員が医療的ケアを行えるよう、引き続き「喀痰吸引等研修」の受講に努めるとともに、26年度から開始された小中学校の体験学習の場の提供や障害者団体への会議室の貸し出しを行う事業の充実を図り、更なるサービスの向上に努めていく。